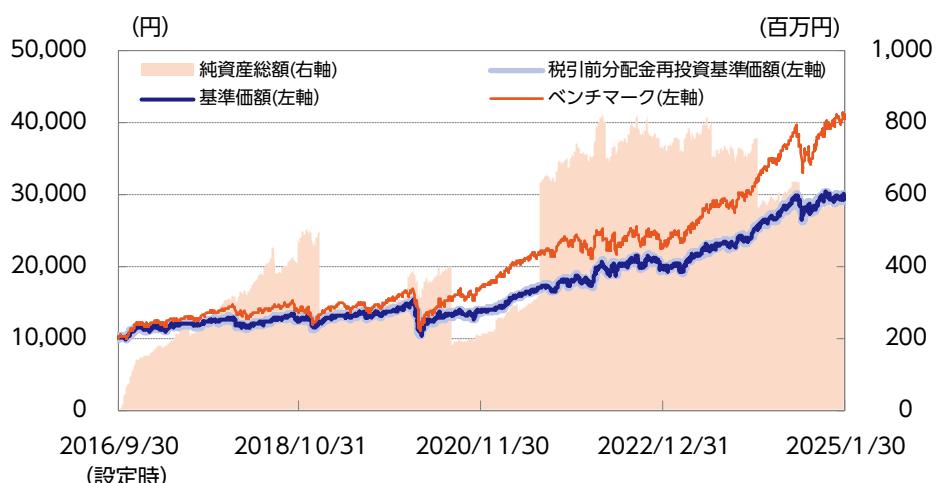


運用実績

基準価額・純資産の推移



基準価額および純資産総額

基準価額	29,963円
前月末比	319円
純資産総額	51万円

基準価額の騰落率（税引前分配金再投資）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.1%	1.8%	5.3%	17.9%	67.9%	199.6%
ベンチマーク	0.2%	4.8%	12.1%	27.1%	81.1%	306.8%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第3期	2018年12月	0円
第4期	2019年12月	0円
第5期	2020年12月	0円
第6期	2021年12月	0円
第7期	2022年12月	0円
第8期	2023年12月	0円
第9期	2024年12月	0円
直近1年間累計		0円
設定来累計額		0円

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※基準価額は実質的な信託報酬控除後のものです。税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。なお、信託報酬率は「手続・手数料等」の「ファンドの費用」をご覧ください。

※運用状況によっては、分配金額が変わること、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります（個人受益者の場合）。

※ファンド騰落率は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しており、実際の投資家利回りとは異なります。

※基準価額の前月末比は、決算日到来月に分配金支払実績がある場合、分配込みで算出しています。

※ベンチマークはMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）としています。MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は設定日の終値を起点として指数化しています。

※MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数であり、日本を除く主要先進国の株式により構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同指数をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。以下同じです。

組入比率

MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド I (適格機関投資家転売制限付)	—
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	2.0%
短期金融資産等	98.0%

※対純資産総額比

ニッセイ／MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド

マンスリーレポート

2025年1月末現在

投資対象ファンドの状況

※投資対象ファンドの状況は、当ファンドが主に投資対象とする「MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド I（適格機関投資家転売制限付）」の状況を表示しており、以下の表およびグラフ中の数値は、同ファンドの運用会社である、MFSインベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地月末前営業日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

国・地域別組入比率

(2025年1月末時点)

業種別組入比率

(2025年1月末時点)

2025年1月末現在、銘柄の組入はございません。

2025年1月末現在、銘柄の組入はございません。

組入上位10銘柄

(銘柄数：95)

(2024年12月末時点*)

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	マケッソン	アメリカ	ヘルスケア	3.4%
2	コルゲート・パルモリーブ	アメリカ	生活必需品	3.3%
3	モトローラ・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	3.3%
4	コーニングレッカ KPN	オランダ	コミュニケーション・サービス	3.1%
5	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	3.0%
6	DBSグループ・ホールディングス	シンガポール	金融	2.9%
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	ヘルスケア	2.6%
8	S Tエンジニアリング	シンガポール	資本財・サービス	2.2%
9	リパブリック・サービス	アメリカ	資本財・サービス	2.1%
10	C L P ホールディングス	香港	公益事業	2.0%

*比率はすべて対組入株式等評価額比です。

※業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

※国・地域はMFSインベストメント・マネジメント株式会社の分類によるものです。

*組入上位10銘柄については、MFSインベストメント・マネジメント株式会社の開示方針により2024年12月末時点のデータに基づき作成しています。

ニッセイ／MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド

マンスリーレポート

2025年1月末現在

※「ファンダメンタル分析」および「今後の見通しと運用方針」については、MFSインベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地月末前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが合理的と判断した上で作成しています。

当月の市況動向

当月の世界株式市場は、生成人工知能（AI）での技術進展や関連インフラへの巨額投資の発表、業績動向を手掛かりにした金融セクターに対する物色の動きなどから、上昇しました。

前半は、堅調な米国景気動向から米連邦準備制度理事会（FRB）の当月利下げが見送りになる可能性が高まったことや、低調な中国経済、トランプ次期米大統領による関税政策を警戒し、下落する展開となりました。

後半は、トランプ氏の米大統領就任に前後しAI関連での巨額なインフラ投資発表が相次いだことや、当月20日の就任式でトランプ米大統領が関税の即時発動をしなかったことから市場の懸念が一時和らいだこと、さらに米大手金融グループを中心に好業績の発表が相次いだことから、大きく反発する動きとなりました。しかし、月末にかけて中国新興企業により低コストで開発された生成AIが登場し話題となったことにより、AI関連産業の中でも半導体関連は長期的な需要減退との見方が強まる一方、AIを実装しようとする関連企業はコスト面で恩恵を受けるとの見方が強まるなど物色の流れが大きく変化する展開となり、上げ幅をやや縮めて月末を迎えました。

ファンドの状況

当ファンドは、「MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド I（適格機関投資家転売制限付）」を通じて、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とする運用を行います。

当月は、引き続き、ファンダメンタル・リサーチとクオンツ分析の融合により、クオリティーが高くかつ割安な銘柄を厳選するとともにボラティリティ（価格変動性）の高い銘柄を回避することで、優れたリスク調整後リターンを獲得することを目指しました。

当ファンドの基準価額は、29,963円となり、前月末比+319円となりました。

今後の見通しと運用方針

中国新興企業による生成AIの技術進展はAI発展の道筋を大きく変えるものではなく、進化の一部と捉えられさらなるAI普及に弾みがつくものと考えています。もちろん半導体などを巡り米中対立がより激化することなども想定されるため、政治情勢には十分注視する必要があると想定しています。また、就任したトランプ米大統領による関税強化や規制緩和、パリ協定からの再離脱、ウクライナ紛争および中東戦争の停戦仲介など多くの変化を想定する必要があり、長期的な目線で冷静に立ち回る必要があると考えています。上記を踏まえ、金融市場のボラティリティが当面高止まる想定すべきだと考えています。引き続き、AIを主軸とした産業革命への期待は世界の株式市場を下支えすると見込まれ、株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色を冷静に行う局面と想定しています。

なお、当ファンドは2025年2月28日に繰上償還を予定しております。償還に向けて現金化を進めてまいります。

ファンドの特色

- ①日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。
- ②実質的な運用はMFS（マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービス・カンパニー）が行います。
- ③相対的にボラティリティ（価格の変動性）を抑制したポートフォリオを構築することをめざします。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド（指定投資信託証券を含みます）は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンダムは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

■ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

●ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができるリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。

これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受付けを中止する、また既に受付けた換金の申込みの受付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。

手 続・手数料等

※基準価額は便宜上1万口当たりに換算した価額で表示されます。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。
申込について	申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時30分までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。ただし、申込締切時間は販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にご確認ください。
	申込不可日	申込日または申込日の翌営業日がニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。
決算・分配	決算日	12月8日（該当日が休業日の場合は翌営業日）
	収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
その他	信託期間	無期限（設定日：2016年9月30日）
	繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ・投資対象とする「MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド I（適格機関投資家転売制限付）」が存続しないこととなる場合には、ファンドを繰上償還します。 ・受益権の口数が30億口を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることができます。
	課税関係	<p>課税上は株式投資信託として取扱われます。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の対象となりますが、当ファンドは、NISAの対象ではありません。</p>

！ ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

ニッセイ／MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド

マンスリーレポート

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	ありません。 ※手数料は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎 日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率0.33%（税抜0.3%）をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
		投資対象とする 指定投資信託証券 MFS 外国株 低ボラティリティ運用ファンド I (適格機関投資家転売制限付) ニッセイマネーマーケット マザーファンド
		実質的な負担 ファンドの純資産総額に年率1.012%（税抜0.92%）程度をかけた額となります。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%（税抜0.01%）をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
随 時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

！ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

！ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

税金

分配時の普通分配金、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して、所得税および地方税がかかります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- ・外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が投資信託説明書（交付目論見書）の記載と異なる場合があります。
- ・法人の場合は上記とは異なります。
- ・税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター 0120-762-506 9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く） ホームページ https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三井UFJ信託銀行株式会社	

ご留意いただきたい事項

- ①投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- ②当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- ③投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。
- ④投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。
- ⑤当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- ⑥当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ⑦当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ⑧当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ⑨当資料の内容は原則作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。

詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○